

# 味の素 バードサンクチュアリ ～野鳥のオアシス～

四日市コンビナートの工業地帯に位置する「味の素バードサンクチュアリ」。夏はサギ類の集団繁殖地、冬はカモ類の越冬地として、ここには一年を通じさまざまな野鳥が集まります。



## サンクチュアリとは？

野生生物の生息地の保全を目的とした場所です。

1981年に日本野鳥の会が設置した「ウトナイ湖サンクチュアリ」が日本で初めてのバードサンクチュアリとして知られています。

バードサンクチュアリは生息地の保全だけでなく、訪れた人がその自然と触れ合える場所としても注目されています。

## 工場緑地が「野鳥の聖域」に

「味の素バードサンクチュアリ」の敷地面積は、約1万3千平方メートル。大きな池は事業所創設時に隣接河川の護岸工事と防排水としての継続的給水によって形成されたものです。

操業開始とともに「森の工場づくり」の取組みとしてアカシア、ユーカリなどの木が植樹されました。その後も工場内の緑化が進められ、次第に野鳥をはじめとする生き物が集まる場所になりました。

そして平成14年「味の素バードサンクチュアリ」としてオープンし、工場と自然の「共生」を目指した取組みが始まりました。平成24年に行った専門家による動植物調査では、1年間に約38種類の野鳥が確認されています。

## バードサンクチュアリができる前のようす 操業開始頃(昭和37年)



▲当時の池周辺は草原で樹木は生えていない状態でした。

## 現在のバードサンクチュアリ全景



▲池周辺には少しずつ緑が増え、それとともに生き物も集まってきました。

## お話を伺った人

### 味の素株式会社 東海事業所

住所：四日市市日永1730番地



総務部

もりもと かずひろ  
森本 和博さん

ふじおか はじめ  
藤岡 肇さん

「味の素バードサンクチュアリ」の取組みは平成15年、「野生生物保護功労者表彰」、「三重県環境功労賞」を受賞しました。現在も地域の環境保全および生物多様性への取組みの一環として、バードサンクチュアリの整備を行っています。

そこで今回は味の素株式会社 東海事業所の方に「味の素バードサンクチュアリ」の魅力と保全活動についてお話を伺いました。